

展示リニューアルのお知らせ
中央・北アジア及びアイヌの文化展示
が3月17日(木)に新オープン

特別展

「夷酋列像」

蝦夷地イメージをめぐる人物・世界」
《夷酋列像》は、1789年「クナシリ・メナシの戦い」で松前藩に協力したアイヌの有力者12人を描いた肖像画です。
本展示では、「夷酋列像」を近世絵画史のなかでとらえるとともに、18世紀におけるアイヌの事情やアイヌ文化の背景に隠された中国やロシアを含めた北東アジアと蝦夷地の知られざる歴史・文化を明らかにします。



《夷酋列像》ツキノエ(フランス・プザンソン美術者古博物館蔵)

会期 5月10日(火)まで
会場 特別展示館

「サンドラの週末」
突然の解雇を告げられた女性が、最後の猶予に賭けて奔走する週末を通して、様々な立場に立つ労働者と人間同士の信頼について考えます。
日時 3月20日(日) 13時30分～16時
(開場13時)
会場 本館講堂(定員450名)
※申込不要、要展示観覧券、11時から本館2階観覧券売場にて整理券を配布

国際シンポジウム
「無形文化遺産の継承における『オーセンティックな変更・変容』」
3月11日(金)～13日(日)
会場 本館第4セミナー室(定員60名)
使用言語 英語(日本語同時通訳)
※事前申込、参加無料、先着順

みんなくミュージアムパートナーズ
「点字体験ワークショップ」
日時 3月12日(土) 12時～15時30分
会場 本館エントランスホール
※申込不要、参加無料

公開講演会
「ワールドアートの最前線——アイヌの文様とエチオピアの響き」
アート(芸術)概念自体を問い直すワールドアートの動向について、国、地域や製作者の状況などの違いに注目しつつ、紹介していきます。

日時 3月25日(金) 18時30分～20時45分
会場 オールホール(大阪市北区梅田)
定員480名
主催 国立民族学博物館・毎日新聞社
※事前申込、参加無料、手話通訳あり
お申込み・お問い合わせ
本館 研究協力係
電話 06・6878・8209

カレッジシアター
「地球探究紀行」
みんなくの研究が驚きと感動をお届けします。世界の文化の、奥深くへ一緒にどうぞ。
時間 13時～14時30分
会場 あべのハルカス近鉄本店「スペース9」
※事前申込(参加状況により当日受付あり)、参加費各回1000円(定員各回50名)
共催 産経新聞社、近鉄文化サロン、スペース9特別協力 国立民族学博物館、千里文化財団
3月9日(水)

中国鶴岡い探訪記
消えゆく前にみてみよう
講師 卯田宗平(本館准教授)
3月23日(水)
ダンジリの系譜
講師 笹原亮二(本館教授)
お申込み・お問い合わせ先
ウエブ産経カレッジシアター係
06・6633・9087

●展示場閉鎖のお知らせ
設備工事のため、各展示場を次のとおり閉鎖します。
南アジア 2月24日(水)～3月2日(水)
日本の文化 3月2日(水)～3月9日(水)
東南アジア 3月9日(水)～3月16日(水)

●無料観覧日のお知らせ
3月13日(日)は万博公園ふれあいの日のため本館展示を無料で観覧いただけます。
●みんなくシャトルバスのご案内
大阪モノレール「万博記念公園駅」とみんなくの間の直通送迎バスを期間限定で運行します。
運行日 5月10日(火)まで
1日11往復、所要時間10分、無料
運休日 休館日
3月5日(土)、6日(日)、13日(日)
※万博記念公園でイベント開催の場合は臨時に運休することがあります。

●各イベントについてくわしくはみんなくホームページをご覧ください。
※電話でのお問い合わせの受付時間は、9時～17時(土日祝を除く)です。

みんなくセミナー

時間 13時30分～15時(13時開場)
会場 本館講堂
定員 450名(当日先着順)
参加費 無料(展示をご覧になる方は展示観覧券が必要です)
第454回 3月19日(土)
『夷酋列像』の首長たちがまとう衣装
講師 佐々木史郎(本館教授)

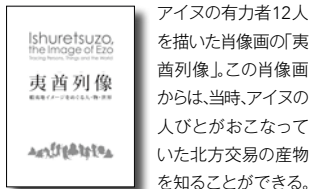


クナシリ・メナシの戦いの終結に関係した12人のアイヌの首長たちを描いた夷酋列像。その首長たちが身にまとう衣装は、ロシアの海軍士官の外套や蝦夷錦の朝服などアイヌの伝統的な衣服ではないといわれています。その衣装が語る当時の蝦夷地をめぐる日本、ロシア、そしてアイヌの人びとの葛藤を明らかにします。

みんなくウィークエンド・サロン

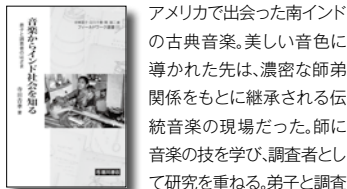
本館の研究者が来館された皆様の前に登場します！
「研究について」「調査している地域(国)の最新情報」「展示資料について」など、話題や内容は実に多彩。
3月6日(日) 14時30分～15時30分 特別展示館
夷酋列像をめぐる、人物、世界
話者 日高真吾(本館准教授)
3月27日(日) 14時30分～15時30分 本館ナビひろば
ノースコミュニティと共に進む博物館資料の熟識調査
話者 伊藤敦規(本館准教授)
※申込不要、参加無料(要展示観覧券)

■北海道博物館 編
『夷酋列像——蝦夷地イメージをめぐる人・物・世界』「夷酋列像」展実行委員会、北海道新聞社 1,852円(税抜)



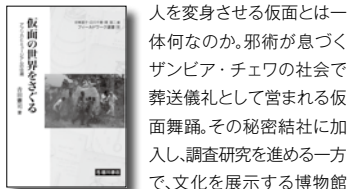
アイヌの有力者12人を描いた肖像画の「夷酋列像」。この肖像画からは、当時、アイヌの人びとがおこなっていた北方交易の産物を知ることができる。

■寺田吉孝 著
『音楽からインド社会を知る——弟子と調査者のはざま(フィールドワーク選書)』臨川書店 2,000円(税抜)



アメリカで出会った南インドの古典音楽。美しい音色に導かれた先は、濃密な師弟関係をもとに継承される伝統音楽の現場だった。師に音楽の技を学び、調査者として研究を重ねる。弟子と調査者のはざまに揺れ動く心情をつづりながら、複雑なカースト社会に迫り、混沌とした南インドの音楽界を描き出す。——やがてくる師との別れに、弟子は何を想い、何を後代に伝えるのか。

刊行物紹介
■吉田憲司 著
『仮面の世界を探る——アフリカとミュージアムの往還(フィールドワーク選書)』臨川書店 2,000円(税抜)



人を変身させる仮面とは一体何なのか。邪術が息づくザンビア・チェワの社会で葬送儀礼として営まれる仮面舞踊。その秘密結社に加入し、調査研究を進める一方で、文化を展示する博物館のあり方を見据える。人びとの生活のなかで生まれ、育まれてきた仮面の魅力を伝えるとともに、人と人の関わりをなかで他者と自己を掘んでいくフィールドワークの意義を感じさせる一書。

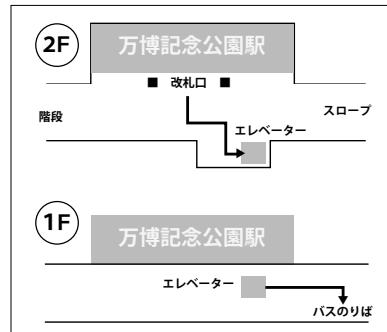
友の会

友の会講演会(大阪)

会場 本館第5セミナー室(定員96名)
※当日先着順、会員無料(会員証提示)、一般5000円
第453回 4月2日(土) 13時30分～15時30分
「特別展「夷酋列像」関連」
講師 吉本忍(本館名誉教授)
みんなくで開催する特別展「夷酋列像 蝦夷地イメージをめぐる人・物・世界」で展示されるアイヌの最古の衣服、その他の新発見資料を紹介しながら、これまでほとんど知られることなかった16世紀から17世紀におけるアイヌの積極的な対外活動の一端について解説します。
〔月刊みんなく〕2月号に掲載の「アイヌの衣服から見えてきたこと」もご参照ください。
●講義終了後、講師の案内のもと、特別展を見学します。
第454回 5月7日(土) 13時30分～15時30分
〔第87回民族学研修の旅関連〕
国境の地に生きる——フィンランド・カレリアとエストニア・セトウの人びと
講師 庄司博史(本館名誉教授)
フィンランド東部・カレリア地方とエストニア東南部・セトウ地方にはともに国境によりロシア側と分断された人びとが住んでいます。双方ともロシアの長い支配下にあったため民俗文化や宗教にはロシアの強い影響を残す一方、辺境の地であったことからそれぞれの国ではすでに失われた文化も多く保持してきました。本講演では、今日、過疎化と多数派への同化の波のなかで地域にとどまり、伝統文化を守ろうとする人びとの姿を追います。
●講義終了後、講師を囲んで懇談会を実施します。

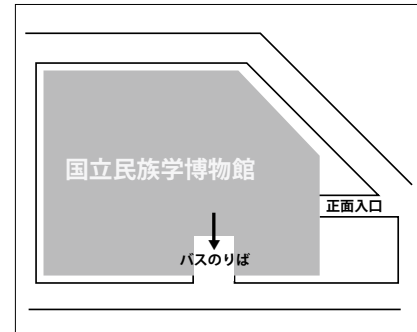
東京講演会
会場 モンベル渋谷店5F(サロン)
定員 60名(要事前申込、会員無料・一般5000円)
第115回 4月23日(土) 13時30分～15時30分
〔第87回民族学研修の旅関連〕
国境の地に生きる——フィンランド・カレリアとエストニア・セトウの人びと
講師 庄司博史(本館名誉教授)
第87回民族学研修の旅
フィンランドとエストニアの原風景に出会う
森の恵みと唄を愛する人びとを訪ねて
8月1日(月)～8月9日(火)

大阪モノレール 万博記念公園駅発



時	万博記念公園	→国立民族学博物館
10	10	40
11	10	40
12		
13	00	30
14	00	40
15	10	40
16		15

国立民族学博物館発



時	国立民族学博物館	→万博記念公園
10		55
11		25
12		45
13	15	45
14	25	55
15		25
16	5	30